

2025年11月期第3四半期 決算資料

アステナホールディングス株式会社
(東証プライム市場:8095)



- 01 エクゼクティブサマリー
- 02 2025年11月期第3四半期 決算概況
- 03 業績予想・3カ年中期経営計画

01 エクゼクティブサマリー

02 2025年11月期第3四半期 決算概況

03 業績予想・3カ年中期経営計画

エクゼクティブサマリー

FY25 1-3Q 実績

売上高

454 億円

前同比 +8.1%

営業利益

28 億円

前同比 +40.1%

- 売上高、営業利益ともに増収増益。
- ファインケミカル事業において開発受託が好調。
- HBC・食品事業において輸入化粧品の販売が好調。

FY25 通期 業績予想

売上高

640 億円

前同比 +10.4%

営業利益

31 億円

前同比 +10.1%

- 売上高は概ね当初予想通りに推移。
- 営業利益は3Qまでにおける業績の伸長により、前同比で増加する見込み。

トピック

当社グループ従業員持株会を通じた「特別奨励金スキーム」の導入

- 従業員の経営参画意識の醸成、グループ一体感の強化及び企業価値向上への意欲喚起が目的。
- アステナグループ従業員持株会を通じ、持株会会員に対し、特別奨励金として当社株式を付与。

明日の『あたりまえ』を創り続ける

- 01 エクゼクティブサマリー
- 02 2025年11月期第3四半期 決算概況**
- 03 業績予想・3カ年中期経営計画

2025年11月期第3四半期 決算概況

増収増益の主な要因

- ・ ファインケミカル事業において、付加価値の高い品目の受託製造・自社品製造の販売が好調。
- ・ HBC・食品事業において、輸入化粧品の販売が好調。

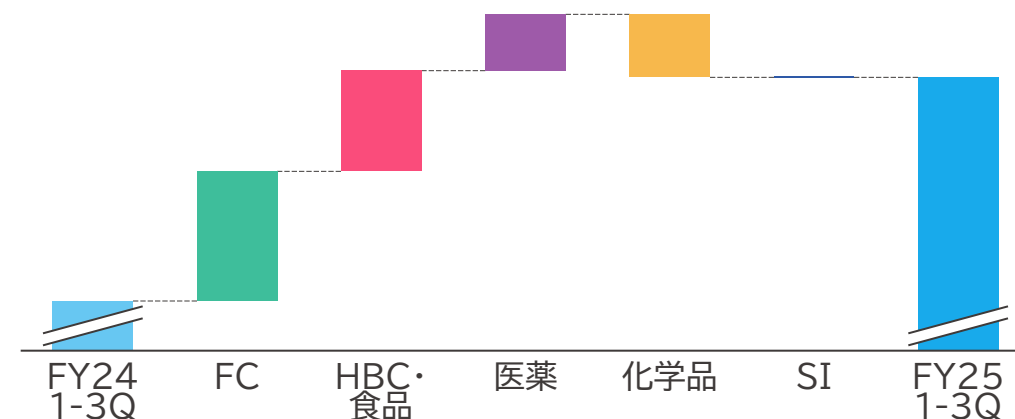
	FY24 1-3Q 実績	FY25 1-3Q 実績	前同比 (増減率)
売 上 高	420.7 億円	454.7 億円	+34.0 億円 (+8.1%)
営 業 利 益	20.0 億円	28.0 億円	+8.0 億円 (+40.1%)
経 常 利 益	20.1 億円	27.1 億円	+7.0 億円 (+34.7%)
親会社株主に帰属する 四 半 期 純 利 益	11.3 億円	16.3 億円	+5.0 億円 (+43.7%)
E B I T D A	37.0 億円	45.6 億円	+8.6 億円 (+23.2%)

2025年11月期第3四半期 セグメント別業績

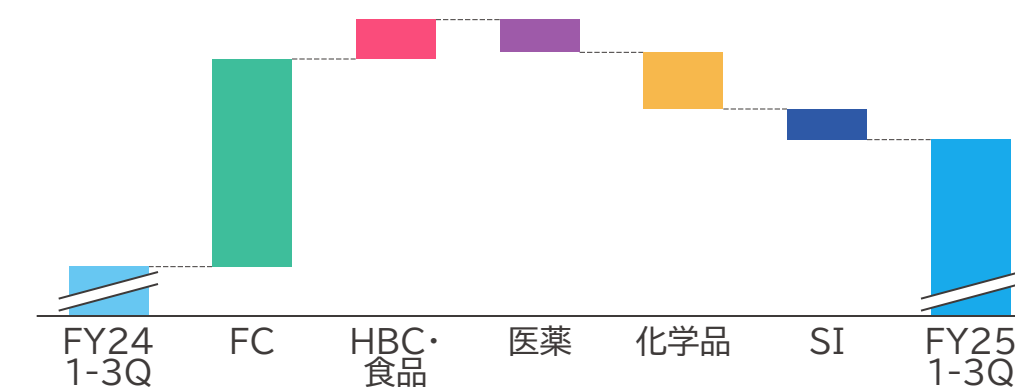
ファインケミカル事業、HBC・食品事業において増収増益。

		FY25 1-3Q	前同比
ファインケミカル事業	売上高	171.7 億円	+19.6 億円
	営業利益	10.8 億円	+12.1 億円
HBC・食品事業	売上高	121.4 億円	+15.2 億円
	営業利益	5.4 億円	+2.3 億円
医薬事業	売上高	93.1 億円	+8.5 億円
	営業利益	8.8 億円	△1.9 億円
化学品事業	売上高	68.0 億円	△9.5 億円
	営業利益	4.1 億円	△3.3 億円
ソーシャルインパクト事業	売上高	0.3 億円	+0.0 億円
	営業利益	△2.7 億円	△1.8 億円

売上高増減



営業利益増減



明日の『あたりまえ』を創り続ける



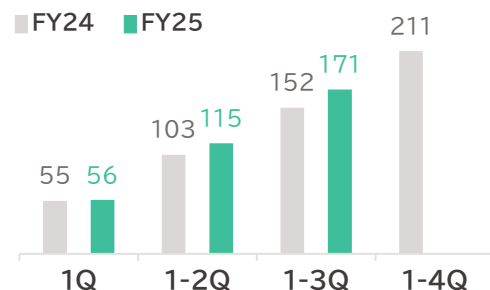
※前同比は、FY2024実績における全社費用の配賦基準をFY2025と同様に組み替えた実績に対する金額を記載しています。

※グラフは持株会社運営費用等を除いて表記使用

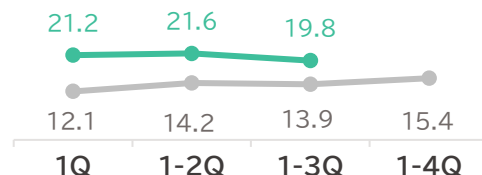
ファインケミカル事業

業績推移(単位:億円,%)

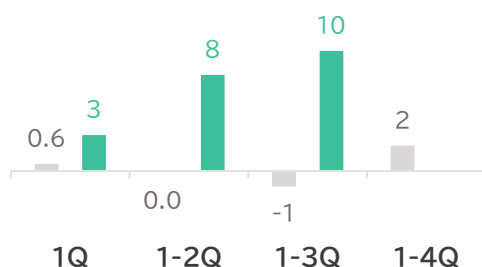
売上高



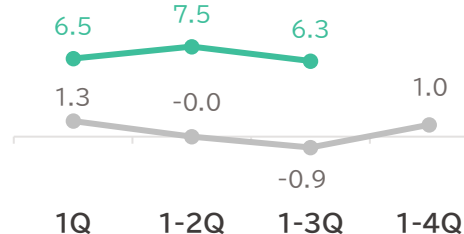
売上総利益率



営業利益



営業利益率



営業利益増減要因分析



ポイント

医薬品開発エコシステム部門

- 新薬メーカー、ベンチャー企業やジェネリックメーカーへの営業活動を継続し、新規案件の獲得に注力。
- MicroED関連の受注を中心に新規案件が増加。
- 中分子原薬プロセス開発案件の受注が順調に推移。

医薬品原料プラットフォーム部門

- 高付加価値品目の販売が提案型販売により堅調に推移。
- 事業拡大に伴う増員やオフィス移転により費用が増加。

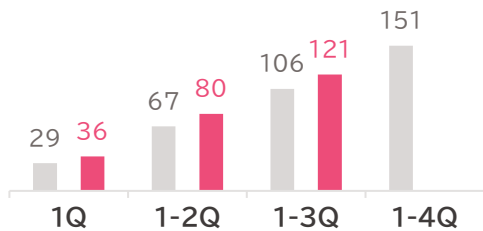
医薬品CDMO部門

- 外用剤製造の2シフト制導入により工場稼働率が上昇。
- 市場の新薬開発の活発化により高品質な原薬の需要が増加。

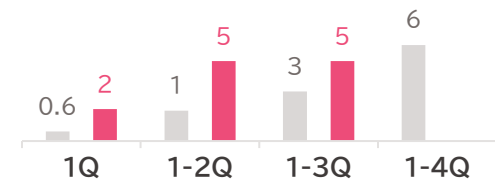
業績推移(単位:億円,%)

売上高

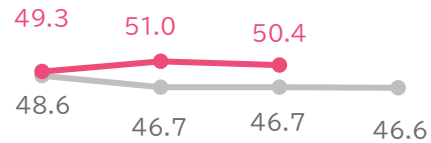
■ FY24 ■ FY25



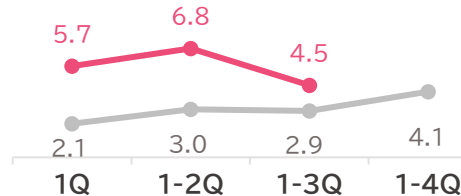
営業利益



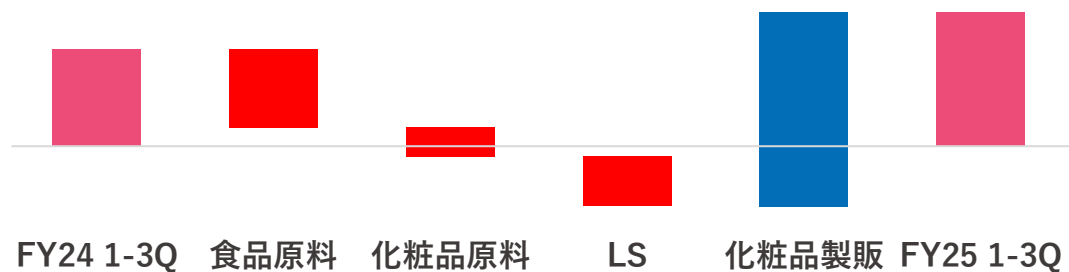
売上総利益率



営業利益率



営業利益増減要因分析



ポイント

食品原料部門

- 市場が緩やかに回復するも需要の減少分を補えず低調に推移。
- “i-Platto”の登録者数増加や高付加価値商品の販売増加により新規獲得額が増加。

化粧品原料部門

- 原材料費、人件費等原価の上昇により低調に推移。
- 企画・インサイドセールス機能の強化等により新規獲得額が増加。
- 積極的な営業展開やM&Aに係るコストが発生。

ライフサイエンス部門

- 需要が落ち着いたことに加え、市場縮小の影響により低調に推移。
- 営業リソースの最適化や営業効率向上を図る施策を実施し、新規顧客が増加。

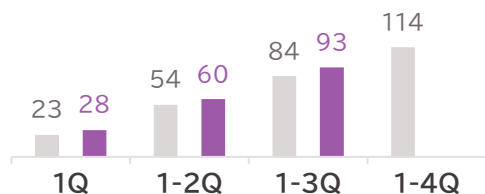
化粧品製販部門

- 韓国コスメ“Torriden”の販売が好調に推移。
- 化粧品企画開発ソリューションサービス開始による先行投資が増加。

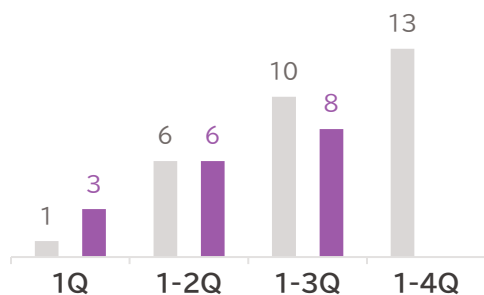
業績推移(単位:億円,%)

売上高

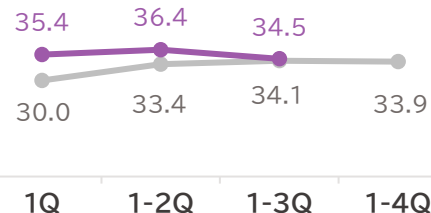
■ FY24 ■ FY25



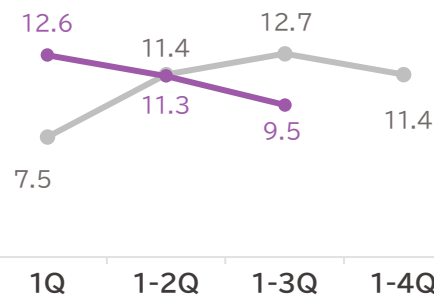
営業利益



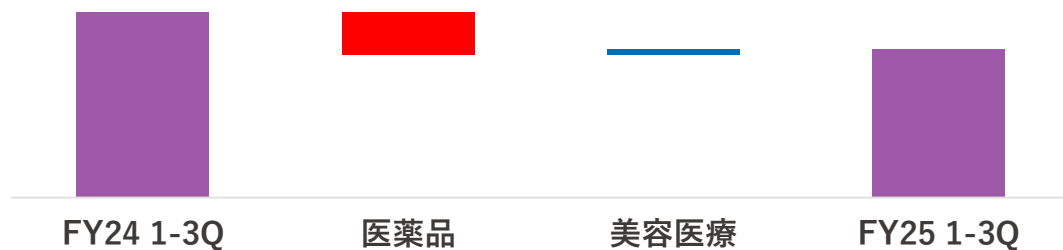
売上総利益率



営業利益率



営業利益増減要因分析



ポイント

医薬品部門

- ・ 選定療養品目となった後発医薬品の販売が好調に推移。
- ・ 薬価改定により先発医薬品と同等以上の薬価となった後発医薬品の販売が低調に推移。
- ・ 原料不足などにより一部製品の製造停止が継続。
- ・ 研究開発費の前倒しにより、販管費が増加。

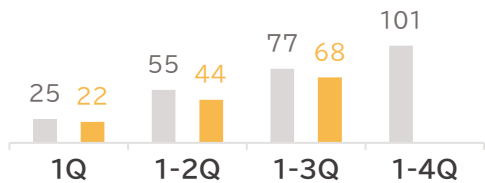
美容医療部門

- ・ 医療機関専売化粧品“NAVISION DR”シリーズ及び“illsera”シリーズの認知度向上に伴い、販売が好調に推移。

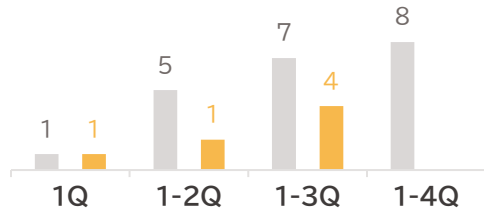
業績推移(単位:億円,%)

売上高

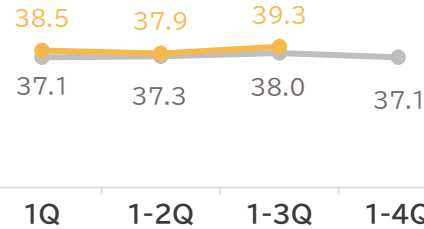
■ FY24 ■ FY25



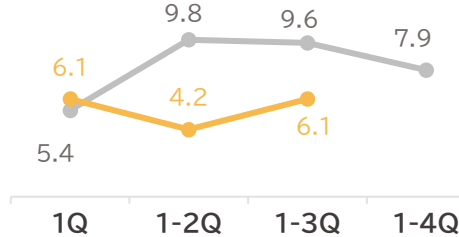
営業利益



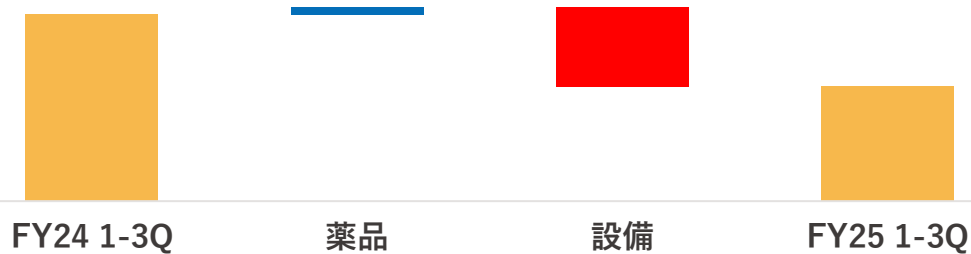
売上総利益率



営業利益率



営業利益増減要因分析



ポイント

表面処理薬品部門

- 市況の回復がみられず業績は横這いで推移。
- 電子部品向け薬品は海外での新規顧客獲得により堅調に推移。
- 高付加価値製品として「微細配線形成用薬品」「受動部品向けめっき薬品」「半導体電極形成用薬品」の販売促進に注力。

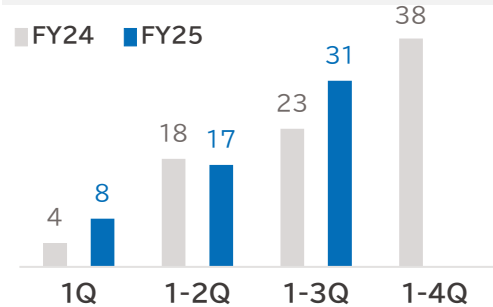
表面処理設備部門

- 顧客の設備投資が一巡したことで販売が大幅に減少。
- 修理及びメンテナンス案件、部品販売に注力した結果、設備以外の販売は過去最高。

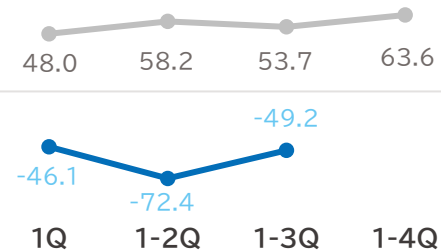
ソーシャルインパクト事業

業績推移(単位:百万円,%)

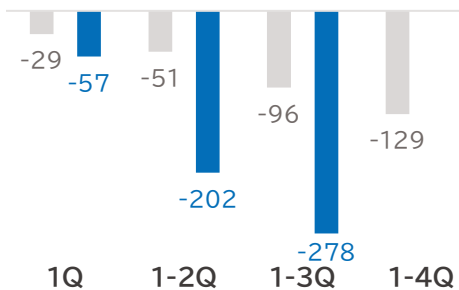
売上高



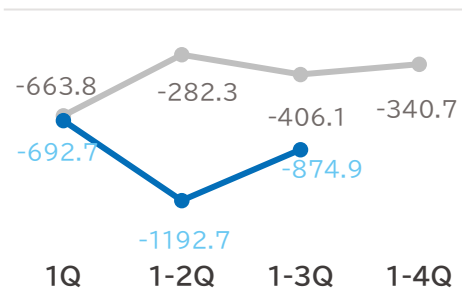
売上総利益率



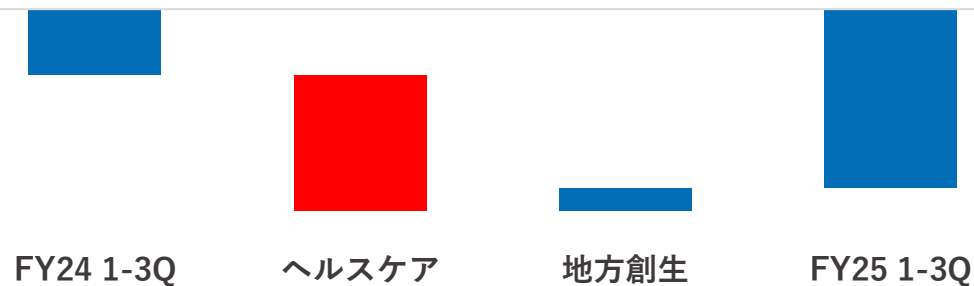
営業利益



営業利益率



営業利益増減要因分析



ポイント

ヘルスケア部門

- NAIAは「農業×ヘルスケア」をコンセプトに、ブランド刷新を推進。これに伴う将来を見据えた戦略的先行投資により利益減少。
- PR活動に投資、ブランド認知度向上に注力。

地方創生部門

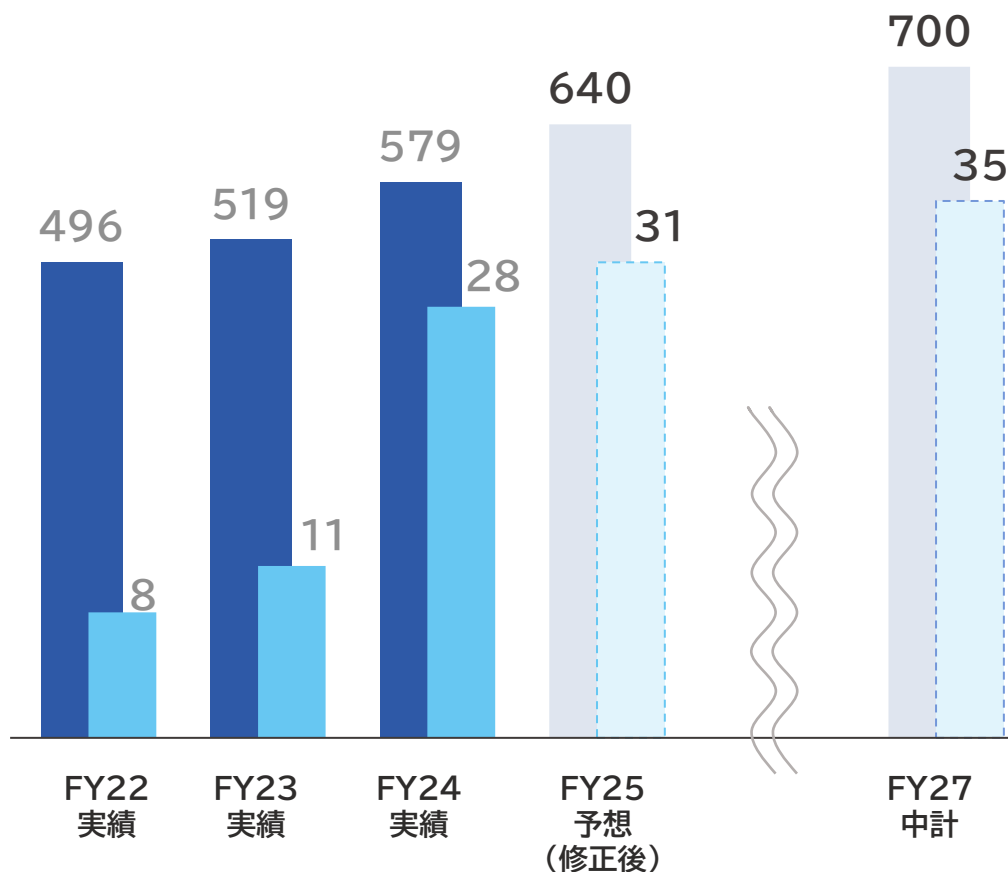
- 現地決済型サービス「ふるさとNOW」の導入件数が増加し、売上高、営業利益ともに順調に推移。
- サービスが全国各地へ広がり、経済活性化等、地域社会への貢献に繋がっている。

- 01 エクゼクティブサマリー
- 02 2025年11月期第2四半期 決算概況
- 03 業績予想・3カ年中期経営計画**

2025年11月期通期業績予想・3カ年中期経営計画

■ 売上高(億円)

■ 営業利益(億円)



明日の『あたりまえ』を創り続ける

2025年11月期 通期業績予想

売上高	営業利益	ROE
640 億円	31 億円	7.0 %

- ・ FC:高付加価値品目の受託・製造好調
- ・ HBC・食品:輸入化粧品の販売拡大

中期経営計画達成に向けて(3カ年最終:2027年11月期)

売上高	営業利益	ROE
700 億円	35 億円	8.8 %

HD体制化以降の構造改革が着実に進捗

- ・ FC:営業、受託体制の見直し、効率化による収益性改善
- ・ HBC・食品:幅広い販路の活用+機動的M&A
- ・ 医薬、化学品:ニッチ領域における収益安定化

アステナホールディングス株式会社(8095)

2025年11月期第3四半期 決算資料

- 本資料の予想は、発表日現在において入手可能な情報及び一般的に認識されている経済・社会等の情勢に基づいて作成したものであり、実際の業績は今後の経営環境の変化等様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。
- 本資料には、監査を受けていない参考数値が含まれています。
- ご質問はinfo_ir@astena-hd.comまでご連絡ください。

お問い合わせ窓口
アステナホールディングス株式会社
経営企画部 広報・IRグループ
Tel:03-3279-0564